

再評価結果（令和5年度事業継続箇所）

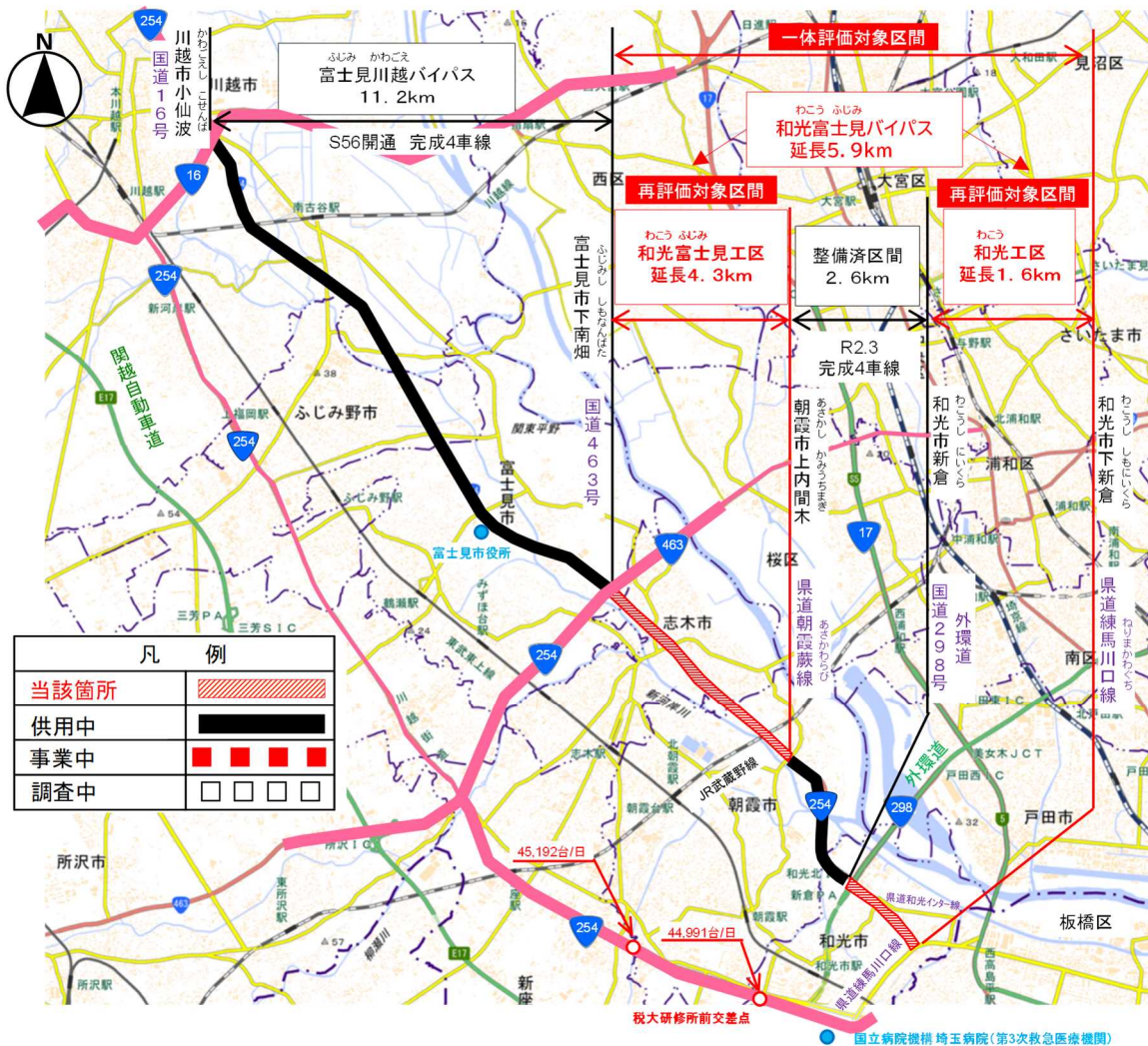
担当課：道路局 国道・技術課
 担当課長名：長谷川 朋弘

事業名	重要物流道路 一般国道254号 和光富士見バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	埼玉県
起終点	自：埼玉県和光市下新倉 自：埼玉県朝霞市上内間木	至：埼玉県和光市新倉 至：埼玉県富士見市下南畑	延長	5.9km	
事業概要					
一般国道254号は、東京都文京区から埼玉県を南北に縦貫し、長野県松本市に至る延長284kmの一般国道である。一般国道254号における朝霞市から和光市までの現道は、交通量が非常に多く税大研修所前交差点などにおいて慢性的な交通渋滞が発生している。そこで現道をはじめ、周辺道路の交通渋滞の緩和を図るとともに、外環道と光北ICへのアクセス強化及び骨格的な幹線道路ネットワークの形成などを目的とし、和光市下新倉～同市新倉まで及び朝霞市上内間木～富士見市下南畑までの延長約5.9kmを整備するものである。					
S59年度事業化		S55年度都市計画決定		S59年度用地着手	
H6年度工事着手					
全体事業費	約624億円	事業進捗率	約51%	供用済延長	— km
計画交通量	34,000～54,000台/日				
費用対効果	B/C	総費用	(残事業)/(事業全体)	総便益	(残事業)/(事業全体)
	(事業全体) 1.5 (1.6) (残事業) 5.6 (5.6)	224/1,279億円 事業費：211/1,257億円 維持管理費：13.5/22.2億円		1,245/1,944億円 走行時間短縮便益：1,173/1,803億円 走行経費減少便益：65.7/125.7億円 交通事故減少便益：6.0/15.6億円	基準年 令和4年
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量：B/C=1.4～1.7 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=5.0～6.1 (交通量±10%) 事業費：B/C=1.5～1.5 (事業費±10%) 事業費：B/C=5.1～6.1 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.1～1.7 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=2.9～5.1 (事業期間±20%)					
事業の効果等					
当該事業の整備により、交通転換がされることで、現道区間の混雑緩和と事故抑制や生活道路の安全性向上が期待される。また、拠点間のアクセス時間が短縮されることで、搬送時間短縮による救命率の向上が期待される。また、バイパスが重要物流道路の指定されることで、平常時・災害時を問わない安定的な物資輸送が期待される。さらに、緊急輸送道路ネットワークの信頼性の向上や、外環道へのアクセス性を活かした沿線開発による地域経済への効果が期待される。					
関係する地方公共団体等の意見					
・都市計画決定の手続きにおいて、周辺住民と合意形成を図っている。 ・「埼玉県広域道路交通計画」(R3.6策定)で一般広域道路に位置付けられている ・沿線自治体で構成される「一般国道254号和光川越間バイパス建設促進期成同盟会」等から、本事業の早期完成の要望活動が行われている。					
事業評価監視委員会の意見					
国庫補助事業としての新規事業箇所とし、事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等					
周辺環境等に特に変化はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率約71% 事業進捗率約51%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、道路改築工事を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等					
今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。					
対応方針	事業継続				

対応方針決定の理由

事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。
- ※ 費用対効果分析結果の()は個別評価結果を示したものの。